

花壇苗の生産ロス削減プラン

大山町 西口隆之（西口農園）

はじめに

私は花壇苗を栽培しています。

就農してから、それまで両親が作っていた梨・ブロッコリー等から、天候に左右されにくい施設園芸に切り替えました。これまでに、花壇苗・野菜苗・メロン・スイカ・切り花ストック・ミニトマト等栽培してみました。現在は、花壇苗一本での経営となっています。

花壇苗の栽培面で、様々な工夫をしてきました。

楽な姿勢で作業をするために、自作のベンチを作り、ベンチ栽培を取り入れました。これにより、人間の作業姿勢が楽になっただけでなく、風通しが良くなり、花壇苗の病害軽減や矮化剤の使用の減少などの効果がありました。その結果、品質が良くなり、生産効率を上げることができました。



また、独自配合の培土（鉢土）を作るため、一昨年（平成24年）にはソイルミキサー（培土の攪拌機）を導入しました。均一に混ざり、培土のコスト削減と、それぞれの品目に合った土づくりができるようになりました。

1 経営等の現状と課題

(1) 生産、経営の現状（平成25年）

作目	面積 (a)	生産量	労働力
花壇苗	ハウス 20 棟、27.5a	30 万鉢	本人、配偶者、父、母 パート (忙しい時 30 日程度)

(2) 花壇苗の主力品目

春・夏	秋・冬
ペチュニア	パンジー
キンギョソウ	ビオラ
マリーゴールド	コスモス
バーベナ	キンギョソウ
その他	その他

* J A鳥取西部花壇苗部会に所属し、関西方面の市場を中心に出荷しています。また、花回廊の苗も生産しています。

(3) 農業機械および施設状況

機械・施設名	台数・棟数	能力・面積
トラクター	1台	18 PS
軽トラック	2台	
ソイルミキサー	1台	
土入れ機	1台	
ビニールハウス	19棟	26.3 a
雨よけハウス	1棟	1.2a
作業場	1棟	50 m ²
暖房機	4台	

2 課題

(1) 灌水用の水

花壇苗生産では、一年中365日きれいな水の確保が重要です。

現在、ビニールハウスを水田に建てているので、灌水は川の水（用水）をポンプアップして利用しています。しかし、米作りの時期になると水が不足しポンプが焼け付いたり、ゴミ・あぜ草等のつまりによるポンプの故障が起きて、たいへん困っています。ポンプが壊れて灌水ができないと葉焼けが起きてしまったり、悪くすれば枯れてしまい生産ロスにつながります。

また、大雨などで水が濁ることがあります。濁った水を使うと葉に汚れが残ったり、病気になることがあり、これも生産ロスになります。

(2) 労働力

現在は、ほぼ家族経営でがんばっていますが、高齢化する両親の負担を軽減したいと思っています。また、作業が後手に回ると余計な手間がかかるようになります。作業の遅れによる生産ロスを減少しなければと思います。

(3) 土入れ機

ソイルミキサーを導入して、土づくりは早くなりましたが、現在使用している土入れ機（ビニールポットに土を詰める機械）の性能が低いので、作業が止まってしまいます。



水が切れて葉が焼けてしまったサルビア



正常な生育のサルビア

3 生産、経営等の目標と効果

(1) 安定した水源の確保

ボーリング井戸を導入することにより、清潔で安定した水を使用することができます。それにより、病害の発生が抑えられ、生産過程でのロスを軽減できると考えます。

(2) 雇用の導入

雇用を増やすことにより、作業のスピードアップができ、十分な管理をすることができて、花壇苗の品質向上と家族への負担を軽減することができます。

(3) 移植作業の効率化

土詰め機の機能アップを図ることで、移植（小苗をビニールポットに植え付ける）作業のスピードアップができます。これによって、作業を計画的に進めることができ、花壇苗の品質向上につながります。

(4) 相乗効果

以上のことが実践できれば、出荷率の増加による収入アップが見込まれ、規模拡大につながると思うので、圃場の空いているところにハウスを1棟建てて生産量を増やしたいと思います。

主な品目の作型とハウス利用計画

○：種まき、◎：移植、■：出荷

品目 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
パンジー・ビオラ								○	◎	■		
								○	◎	■		
								○	◎	■		
コスモス								○	◎	■		
								○	◎	■		
ペチュニア	○	◎	■									
		○	◎	■								
			○	◎	■							
マリーゴールド												
サルビア									○	◎	■	
									○	◎	■	

- 1年草は、ペチュニア、マリーゴールド等の春作とパンジー・ビオラ、コスモス等の秋冬作との組み合わせで、年2作のハウス利用が可能。

4 今後の具体的な取り組みと役割分担

事業内容	事業費	H26	H27	H28	連携機関
ボーリング井戸 (40m)	199 万円	◎			県・町・本人
パートの導入	—		○		本人
ビニールハウスの 導入 6m 間口×25m×1 棟	200 万円		◎		県・町・本人
土入れ機の更新	200 万円		◎		県・町・本人
事業費合計	599 万円	199 万円	400 万円		
がんばる農家プラン 事業費合計	599 万円	199 万円	400 万円		

* ◎はがんばる農家プラン事業で行うもの。